

土砂笑曾にりりり新えり

金津中学校 二年

山本 尊華

ヤキモト あい加

土砂災害。その言葉も聞いて私が思いのほか  
ぶのは、在島県で二〇一四年八月二十日にお  
きた木規模の土砂災害のことです。この土砂  
災害は死者七十七名、負傷者四十四名とて  
も大きな被害をもたらしました。私は、最初  
このニュースを見たとき、自然災害とは怖い  
ものだな、と思っていました。今まで通り、  
普通の生活ができていなくなる。そんなことは、  
とても想像できません。しかし、その時は、  
大変なことだと思いましたが、私も福井からは遠い  
場所だし、福井ではこんなことはおこらない  
だろうと思っていました。  
しかし、十二年前この福井でも土砂災害が  
おきたのだと、両親から聞いて知り、とても驚  
きました。この土砂災害は、私がかつて一才の  
とき、二〇〇四年七月十八日の福井豪雨によ  
りおこりました。死者四名、負傷者十九名、  
六十名棟もの建物が全壊するという大きな被害  
を受けました。私は、小さくて全く記憶に  
ない中で、その時の様子を詳しく知ることには、

両親や祖母から当時の話を聞きました。私の  
住んでいる家の周辺では、被害はなかっ  
たのですが福井市や鯖江市などは被害が  
大きか  
たそうです。  
祖母は菜山にある親戚の家に、水害の  
舞に行っ  
たそうです。  
その時の様子  
をこう語り  
ます。  
「道路は壊  
れ、川には  
土砂や木  
が流れて  
家も壊  
れて、屋根  
も骨組し  
かたない  
家が何軒  
もあつた。  
福井市では  
ごみか  
流れて悪臭  
がして、  
瓦が物を  
覚えるよ  
うな状態  
ではなか  
った。  
も。こんな  
事は私に  
は想像も  
できな  
いよ  
うな  
ことだ  
と思  
いま  
した。  
また、  
中学生  
は校舎  
に入  
った泥  
を自分  
達で取  
り除く  
作業を  
して  
いた  
そうです。  
ま、大  
変だ  
と思  
いま  
すが、  
自分  
達の使  
う場所  
は自分  
達でま  
くら  
いにし  
よう  
と  
いう  
気持  
が、そ  
うい  
うこ  
と  
が  
で  
きた  
んだ  
と思  
いま  
す。」

父もまた、被害をうけた鯖江の親戚の家に、土砂を取り除く作業を手伝いに行きました。その親戚は、幸い家は被害をまぬがれましたが、山の近くだったのでその家の小屋には、大量の土砂が流れこみ、たまたまその家の家は、家の中まで土砂が流れ、家具などはほとんどだぶにたまりました。その家は、車は通れず、途中からは歩いて、その家まで行ってきました。

被害の木々も、ある程度覚悟していたはずも、

実際その場に降りて、想像以上にひどく、とんでもないと言っていました。土砂は長く、70メートルの長さがあり、何メートルか下りた。土砂は取り除くこともなく、また、夏は暑い、冬は寒い、とて、一日では取り除くことができません。話を聞きました。年は、その当時の様子も十年以上経たず、鮮明に覚えていようです。

福井豪雨による土砂災害で、大被害をこう



してかくこも、避難袋を準備してかくこも  
大切だと思ひます。

私は今まで福井ではそんな村に木もな自然  
災害はあまなだりも、災害に村して少し  
軽い気持ちでいました。しかし、今回福井で  
も木規模な土砂災害があつたを知り、その気  
持ちは解かりました。私は、これから変わら  
ぬハザードマップでも一層確認したり、身近  
なところからできる、自然災害の対策をしたり  
して、およりと思ひました。そして、自然災害  
に備へておられる、良い事、かけになつたと思  
ひます。